

大垣市多文化共生推進指針(H29～H33) 平成 29 年度事業実績 平成 30 年度事業計画



平成 30 年 6 月
大垣市まちづくり推進課

目 次

1	大垣市多文化共生推進指針の概要	1
2	平成 29 年度事業実績・平成 30 年度事業計画一覧	3

1 大垣市多文化共生推進指針の概要

(1) 指針の位置づけ

大垣市多文化共生推進指針は、「大垣市未来ビジョン」を上位計画とし、第1期基本計画の施策「多文化共生の推進」部門の個別計画として、本市の多文化共生、国際交流等の推進施策の方向性を明らかにするものです。

(2) 指針の期間

平成29年度～平成33年度（5年間）

(3) 基本理念

互いに理解を深め、多様性を活かした多文化共生の地域社会

(4) 基本目標

① 外国人市民の日本語能力向上

外国人市民と日本人市民が相互理解を深め地域社会で共生していくため、外国人市民の日本語習得を推進します。また、外国人児童生徒が地域社会はもとより、グローバル人材として活躍できるよう、日本語学習を含む外国人児童生徒の学習支援を推進します。

② 外国人市民に対する相談体制と情報提供の充実

来日直後の外国人市民などに生活に必要な情報を提供するため、多言語による相談体制を充実するとともに、ICTを活用するなど多様な方法で情報提供します。

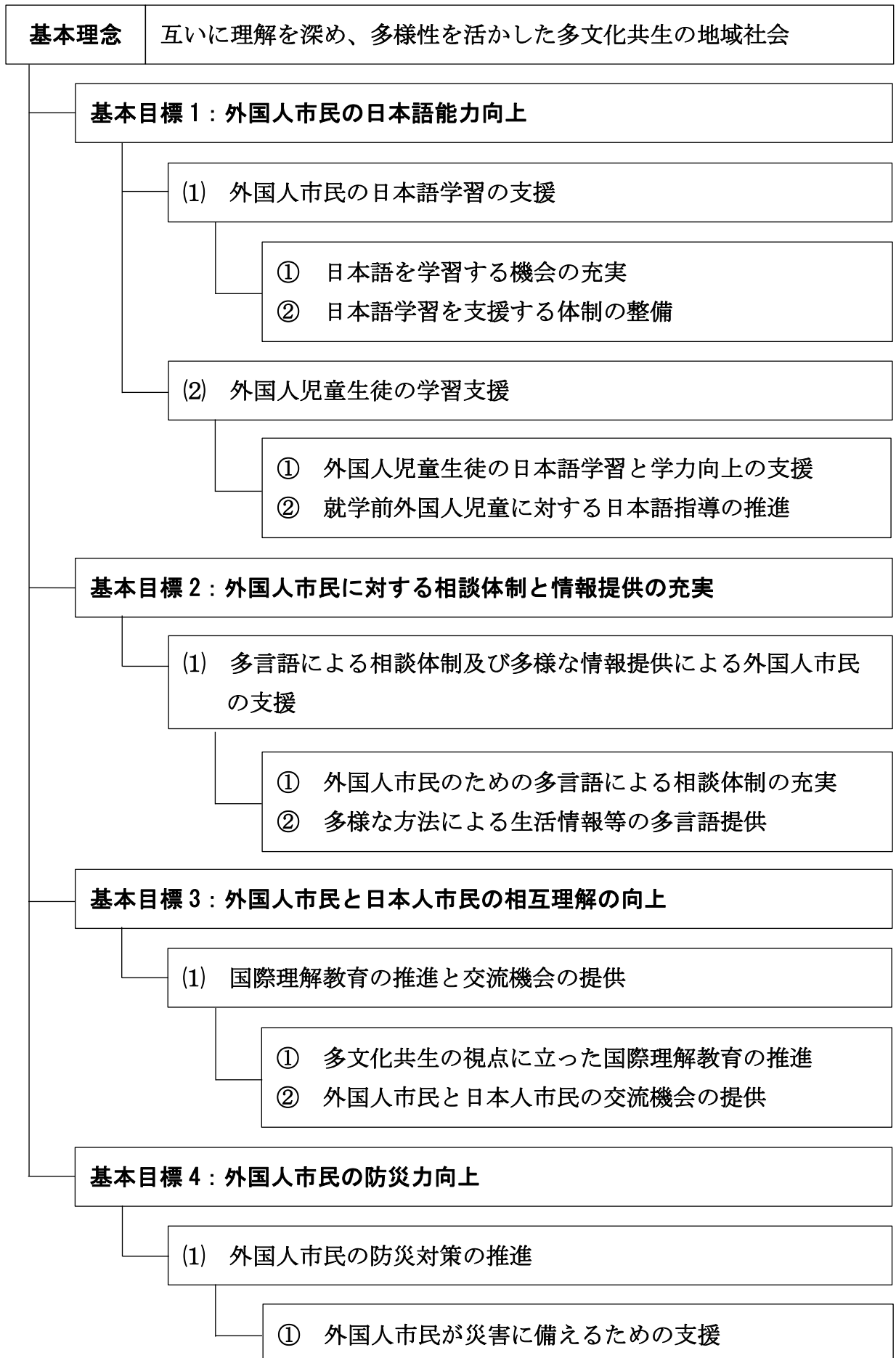
③ 外国人市民と日本人市民の相互理解の向上

外国人市民と日本人市民の相互理解の向上を図るため、日本人児童生徒への多文化共生の視点に立った国際理解教育を推進するとともに、市民同士が交流する機会を提供します。

④ 外国人市民の防災力向上

外国人市民の防災への関心が高まっていることを受け、多言語による防災訓練の実施や、災害時において外国人市民を支援するための体制整備などの防災対策を推進します。

(5) 施策体系図



2 大垣市多文化共生推進指針・平成 29 年度事業実績及び平成 30 年度事業計画一覧（全 39 事業）

◎基本目標 1：外国人市民の日本語能力の向上（9 事業）

○1-(1) 外国人市民の日本語学習の支援

施策名		①日本語を学習する機会の充実				
施策内容		外国人市民の日本語習得を支援するため、日本語教室や、マンツーマン方式の日本語学習などの学習機会を充実します。				
No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績	平成 30 年度事業計画
1	「日本語教室」開催事業 (H29-H33)	大垣国際交流協会	外国人市民の日本語能力に応じた学習機会を提供し、日本語習得を支援します。	【計画】 外国人市民のための日本語教室等を開催します。 ① 外国人市民のための日本語教室 ・ 基礎コース(全 15 回×2 期) ・ 緊急時会話コース(全 5 回×2 期) ・ 生活情報習得クラス(全 5 回) ② マンツーマン日本語学習支援(毎日) ③ にほんごおしゃべりルーム(毎日曜日)	【実績】 ① 外国人市民のための日本語教室 ・ 基礎コース(全 15 回×2 期) 第 1 期：平成 29 年 5 月 14 日 ～8 月 20 日 受講者：26 人(延 212 人) 第 2 期：平成 29 年 10 月 1 日 ～平成 30 年 1 月 14 日 受講者：23 人(延 182 人) ・ 緊急時会話コース(全 5 回×2 期) 第 1 期：平成 29 年 8 月 27 日 ～9 月 24 日 受講者：9 人(延 26 人) 第 2 期：平成 30 年 1 月 21 日 ～2 月 18 日 受講者：21 人(延 67 人) ・ 生活情報習得クラス(全 5 回) 平成 29 年 8 月 20 日 ～9 月 17 日 受講者：8 人(延 30 人) ② マンツーマン日本語学習支援(毎日) 29 年度末学習者数：150 人 指導ボランティア：102 人 ③ にほんごおしゃべりルーム 開催回数：51 回 参加外国人数：延 376 人 指導ボランティア：延 248 人	【計画】 外国人市民のための日本語教室等を開催します。 ① 外国人市民のための日本語教室 ・ 基礎コース(全 12 回×3 期) ・ 生活の日本語クラス(全 8 回) ② マンツーマン日本語学習支援(毎日) ③ にほんごおしゃべりルーム(毎日曜日)
				事業評価	○	方向性 継続

施策名		②日本語学習を支援する体制の整備				
施策内容		外国人市民が同じ外国人市民の日本語学習をサポートする仕組みの構築や、日本語指導ボランティアの育成を推進するなど、学習を支援する体制を整備します。				
No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績	平成 30 年度事業計画
2	ボランティア活動推進事業 (H29-H33)	大垣国際交流協会	国際交流・多文化共生に資するボランティア活動の担い手を養成するため、講座・研修会を開催します。	【計画】 日本語指導ボランティア講座を開催し、外国人市民の日本語学習を支援する担い手を確保します。 また、日本語指導ボランティアが集う研修会を開催し、指導力の向上を図ります。 ① 日本語指導ボランティア講座 回数：全 5 回×3 期 ② ボランティアの集い 回数：1 回	【実績】 ① 日本語指導ボランティア講座 第 1 期：平成 29 年 7 月 26 日～8 月 27 日 受講者：21 人（一般 12 人） 第 2 期：平成 29 年 10 月 6 日～11 月 10 日 受講者：10 人（一般 7 人） 第 3 期：平成 30 年 1 月 12 日～2 月 2 日 受講者：7 人（一般 2 人） ② ボランティアの集い 開催日：平成 30 年 3 月 3 日 参加者：39 人	【計画】 日本語指導ボランティア講座を開催し、外国人市民の日本語学習を支援する担い手を確保します。 日本語指導ボランティア講座（全 5 回×3 期）
				事業評価	○	方向性 継続

○1-(2) 外国人児童生徒の学習支援

施策名		①外国人児童生徒の日本語学習と学力向上の支援				
施策内容		初期指導教室・日本語教室の適切な設置や、多文化共生サポーター派遣及び放課後支援教室の充実を図ることで、外国人児童生徒の日本語学習と学力向上を支援します。				
No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績	平成 30 年度事業計画
3	「初期指導教室」開催事業 (H29-H33)	学校教育課	在籍学校での学習や生活ができる限り円滑に開始できるように、来日間もない等の理由により日本語能力が不十分な児童生徒に対して、必要最低限の日本語指導や教科指導、生活適応指導等を行います。	【計画】 「初期指導教室」を西小学校で開講します。 ・ 期間：4 月～3 月 ・ 開設日時：火曜を除く平日 9 時～13 時半 ・ 指導員：3 人 ・ 場所：西小	【実績】 「初期指導教室」を西小学校で開講しました。 ・ 期間：4 月～3 月 ・ 開設日時：火曜を除く平日 9 時～13 時半 ・ 指導員：3 人 ・ 場所：西小 ・ 参加児童：年間 22 人（ポルトガル語 13 人、中国語 4 人、タガログ語 3 人、それ以外の言語 2 人）の児童生徒が通室した。	【計画】 「初期指導教室」を西小学校で開講します。 ・ 期間：4 月～3 月 ・ 開設日時：火曜を除く平日 9 時～13 時半 ・ 指導員： <u>(拡充)5 人</u> ・ 場所： <u>(拡充)西小・広い教室に開催場所を変更</u>
				事業評価	○	方向性 拡 充

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績				平成 30 年度事業計画
4	「日本語教室」開催事業 (H29-H33)	学校教育課	初期指導教室を修了又は、中級程度の日本語指導や教科指導の補充が必要な児童生徒に対し、日本語指導及び教科指導を行います。	【計画】 「日本語教室」を、拠点校及び準拠点校で開講します。 ・ 期間：4月～3月、毎日開設 ・ 指導員：正規教員3校3人、常勤講師3校3人、非常勤講師9校9人、日本語指導補助員11人(市費9人、県費2人) ・ 場所：市内10校 （拠点校）西・江東・荒崎小、西・西部中 （準拠点校）北・静里・中川・小野小、江並中	【実績】 「日本語教室」を、拠点校及び準拠点校で開講しました。 ・ 期間：4月～3月、毎日開設 ・ 指導員：正規教員3校3人、常勤講師3校3人、非常勤講師9校9人、日本語指導補助員11人(市費9人、県費2人) ・ 場所：市内10校 （拠点校）西・江東・荒崎小、西・西部中 （準拠点校）北・静里・中川・小野小、江並中 ・ 参加児童：116人 （平成30年3月時点）				【計画】 「日本語教室」を、拠点校及び準拠点校で開講します。 ・ 期間：4月～3月、毎日開設 ・ 指導員： <u>（拡充）正規教員4校5人</u> 、常勤講師1校2人、非常勤講師9校8人、日本語指導補助員11人(市費9人、県費2人) ・ 場所： <u>（拡充）市内11校</u> （拠点校）西・江東・荒崎小、西・西部中 （準拠点校）北・ <u>日新</u> ・静里・中川・小野小、江並中
					事業評価	○	方向性	拡 充	
5	「外国人児童生徒のための放課後支援教室」開催事業 (H29-H33)	まちづくり推進課	学習支援を必要とする外国人児童生徒を対象に、学外での教科指導を行います。	【計画】 大垣駅通りにおいて「放課後支援教室」を開催するとともに、夏休み期間中には、県営荒崎団地において分室を開催します。 ① 本室 ・ 場所：多目的交流イベントハウス ・ 回数：週2回（火・金曜日） （小学生）17:00～18:30 （中学生）19:00～20:30 ② 分室 ・ 場所：県営荒崎団地集会所 ・ 期間：7月20日～8月10日 （土日を除く平日16日間）	【実績】 ・ 小学生：開催実績96回 参加者延912人 ・ 中学生：開催実績96回 参加者延616人 ・ 学校訪問：10件 ・ 個別懇談：28件 ・ 分 室：夏休み期間中の16日間開催(参加者27人)				【計画】 大垣駅通りにおいて「放課後支援教室」を開催するとともに、夏休み期間中には、県営荒崎団地において「夏休み宿題サポートルーム」を開催します。 ① 放課後支援教室 ・ 場所：多目的交流イベントハウス ・ 回数：週2回（火・金曜日） （小学生）17:00～18:30 （中学生）19:00～20:30 ② 夏休み宿題サポートルーム ・ 場所：県営荒崎団地集会所 ・ 期間：7月23日～8月10日 （土日を除く平日15日間）
					事業評価	○	方向性	継 続	

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績	平成 30 年度事業計画
6	「多文化共生サポーター」派遣事業 (H29-H33)	まちづくり推進課	市内小学校や放課後支援教室等からの要請に応じ、外国人児童の学習を支援するサポーターを派遣します。	【計画】 市内小学校と放課後支援教室に、多文化共生サポーターを派遣します。 また、派遣要請の増加を見据え、市内外の大学と連携し、新規サポーターを確保します。 ① 小学校 - 派遣先：江東小、中川小、荒崎小、安井小、日新小、北小、東小 - 派遣者：コーディネーター1人、サポーター13人 ② 放課後支援教室 - 派遣者：サポーター12人	【実績】 ① 小学校 - 派遣先：江東小、中川小、荒崎小、安井小、日新小、北小、東小 - 派遣者：コーディネーター1人、サポーター19人 ② 放課後支援教室 - 派遣者：サポーター6人	【計画】 市内小学校と放課後支援教室に、多文化共生サポーターを派遣します。 また、派遣要請の増加を見据え、市内外の大学のほか、学校支援ボランティア等と連携し、新規サポーターを確保します。
					事業評価 ○ 方向性 継続	
7	外国人学校日本語講師派遣事業 (H29-H33)	大垣国際交流協会	日本語を学ぶ機会の少ない外国人学校の生徒が地域社会に適応できるように、日本語指導者を派遣して日本語習得を支援します。	【計画】 H I R O 学園に、日本語指導者を派遣し、在校する外国人児童生徒に日本語を指導します。 毎週 2 回（1 回 3 時間）	【実績】 H I R O 学園への講師派遣 派遣指導者：石水 美佳子氏 派遣回数：96 回（毎週火・金）	【計画】 H I R O 学園に、日本語指導者を派遣し、在校する外国人児童生徒に日本語を指導します。 毎週 2 回（1 回 3 時間）
					事業評価 ○ 方向性 継続	

施策名		②就学前外国人児童に対する日本語指導の推進				
施策内容		就学前の外国人児童が日本の小学校に適応できるよう、プレスクール「きらきら教室」の開催などで日本語指導を推進します。				
No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績	平成 30 年度事業計画
8	プレスクール「きらきら教室」開催事業 (H29-H33)	まちづくり推進課	就学直前の外国人児童を対象としたプレスクール「きらきら教室」において、保護者に対して日本の学校教育制度について理解を深めるよう説明会や個別懇談会を開催します。	【計画】 外国人児童 5 歳児を対象に、在籍する幼保園等を巡回して個別に指導する「巡回指導」と、児童と保護者を集め、模擬授業体験、保護者への説明会を行う「集団指導」を実施します。 ① 巡回指導（各幼保園等：1 人 10 回程度） ② 集団指導（市内施設：5 回） - 開催：5 回 - 参加：児童 20 人／回 保護者 23 人／回	【実績】 ① 巡回指導（12 月～3 月） - 内容：日本語指導、生活適応指導 - 参加：34 人 - 指導：9～18 回／人 ② 集団指導（12 月～3 月） - 開催：5 回 - 参加：児童 20 人／回 保護者 23 人／回	【計画】 外国人児童 5 歳児を対象に、在籍する幼保園等を巡回して個別に指導する「巡回指導」と、児童と保護者を集め、模擬授業体験、保護者への説明会を行う「集団指導」を実施します。 ① 巡回指導（各幼保園等：1 人 10 回程度） ② 集団指導（市内施設：5 回）
					事業評価 ○ 方向性 継続	

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績				平成 30 年度事業計画
9	日本語教室託児ルーム事業 (H29-H33)	大垣国際交流協会	大垣国際交流協会が実施する日本語教室に託児ルームを設け、日本語に親しむビデオ教材等を上映することで、早い段階から日本語に親しむ環境を提供します。	【計画】 日本語教室に託児ルームを設置し、日本語に親しむビデオ教材等の上映や、日本語に親しむ絵本などを提供します。 ① 日本語教室託児ルームを設置する講座 - 基礎コース（全 15 回×2 期） - 会話コース（全 5 回×2 期） - 生活情報クラス（5 回）	【実績】 ① 日本語教室に託児ルームを設置し、日本語教材等を提供しました。 - 基礎コース 利用者：児童 11 人(延 70 人) - 緊急時会話コース 利用者：児童 2 人(延 10 人) - 生活情報習得クラス 利用者：児童 2 人(延 10 人)				【計画】 日本語教室に託児ルームを設置し、日本語に親しむビデオ教材等の上映や、日本語に親しむ絵本などを提供します。 ① 日本語教室託児ルームを設置する講座 - 基礎コース（全 12 回×3 期） - 生活の日本語クラス（全 8 回）
					事業評価	○	方向性	継続	

◎基本目標 2：外国人市民に対する相談体制と情報提供の充実（17 事業）

○2-(1) 多言語による相談体制及び多様な情報提供による外国人市民の支援

施策名		①外国人市民のための多言語による相談体制の充実							
施策内容		日本語能力が不足する外国人市民のために、市役所の各窓口や市民病院等における通訳の配置など、居住環境、子育て、保健・福祉・医療など広範な相談に多言語で対応する体制を充実します。							
No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度実績				平成 30 年度事業計画
10	外国人市民相談事業 (H29-H33)	まちづくり推進課	まちづくり推進課にポルトガル語・英語の通訳を配置し、外国人市民のさまざまな相談に対応します。	【計画】 まちづくり推進課に通訳を配置し、外国人市民の母語で生活相談に対応します。 - ポルトガル語相談員：2 人 - 英語相談員：1 人 （福祉に関する相談） 社会福祉課、高齢介護課、窓口サービス課、障がい福祉課関連 （子育てに関する相談） 子育て支援課、子育て総合支援センター関連 （公営住宅に関する相談） 住宅課関連 （自治会活動等に関する相談） まちづくり推進課関連	【実績】 （福祉に関する相談）2,356 件 社会福祉課 145 件 高齢介護課 5 件 窓口サービス課 2,013 件 障がい福祉課関連 193 件 （子育てに関する相談） 子育て支援課 570 件 （公営住宅に関する相談） 住宅課 28 件 （自治会活動等に関する相談） まちづくり推進課 240 件 （その他） 課税課、収納課等 2,449 件				【計画】 まちづくり推進課に通訳を配置し、外国人市民の母語で生活相談に対応します。 - ポルトガル語相談員：2 人 - 英語相談員：1 人 （福祉に関する相談） 社会福祉課、高齢介護課、窓口サービス課、障がい福祉課関連 （子育てに関する相談） 子育て支援課、子育て総合支援センター関連 （住宅に関する相談） 住宅課関連 （自治会活動等に関する相談） まちづくり推進課関連
					事業評価	○	方向性	継続	

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績				平成 30 年度事業計画
11	外国人市民健康相談事業 (H29-H33)	まちづくり推進課 保健センター	がん検診や成人健診などの健康診査や健康相談、健康教育に通訳を配置します。また、これら各種日程や健康情報を外国語メール配信及びポルトガル語情報誌「アミーゴ」を活用し、外国人市民に広く周知を図ります。	【計画】 外国人市民の健康相談等に、必要に応じて通訳（まちづくり推進課）を活用して対応します。 - 健康診査、健康相談、健康教育における通訳の配置 - 外国語メール配信への情報掲載 - ポルトガル語情報誌「アミーゴ」への情報掲載	【実績】 - 通訳の配置：毎週水曜日ほか - 年間配置日数：36 日 - 情報提供等通訳件数：55 件 - メール配信件数：3 件 - アミーゴへの掲載：12 件				【計画】 外国人市民の健康相談等に、必要に応じて通訳（まちづくり推進課）を活用して対応します。 - 健康診査、健康相談、健康教育における通訳の配置 - 外国語メール配信への情報掲載 - ポルトガル語情報誌「アミーゴ」への情報掲載
					事業評価	○	方向性	継続	
12	外国人市民母子保健相談事業 (H29-H33)	まちづくり推進課 保健センター	乳幼児健診や乳幼児相談、家庭訪問等の各種母子保健事業に通訳を配置します。また、これら各種日程や健康情報を外国語メール配信やポルトガル語情報誌「アミーゴ」を活用し、広く外国人市民に周知します。	【計画】 外国人市民の保健相談に、必要に応じて通訳（まちづくり推進課）を活用して対応します。 - 乳幼児健診や乳幼児相談、家庭訪問等の各種母子保健事業における通訳の配置 - 外国語メール配信への情報掲載 - ポルトガル語情報誌「アミーゴ」への情報掲載	【実績】 - 通訳の配置：毎週水曜日ほか - 年間配置日数：36 日 - 家庭訪問等通訳件数：5 件 - 情報提供等通訳件数：151 件 - メール配信件数：35 件 - アミーゴへの掲載：12 件				【計画】 外国人市民の保健相談に、必要に応じて通訳（まちづくり推進課）を活用して対応します。 - 乳幼児健診や乳幼児相談、家庭訪問等の各種母子保健事業における通訳の配置 - 外国語メール配信への情報掲載 - ポルトガル語情報誌「アミーゴ」への情報掲載
					事業評価	○	方向性	継続	
13	外国人市民医療通訳提供事業 (H29-H33)	医事課	外国語通訳を市民病院に配置し、外国人市民が医療を受けやすい環境を整備します。	【計画】 ポルトガル語通訳 2 人の配置を継続します。 また、中国語通訳 1 人を週 1 回配置します。 なお、ポルトガル語以外の通訳に関しても、岐阜県が推進する「医療通訳ボランティア幹旋事業」の活用を調査研究します。	【実績】 - ポルトガル語通訳配置：2 人 - 中国語通訳配置：1 人 - 医療通訳ボランティア活用件数：0 人				【計画】 ポルトガル語通訳 2 人の配置を継続します。 また、中国語通訳 1 人を週 1 回配置します。 なお、ポルトガル語以外の通訳に関しても、岐阜県が推進する「医療通訳ボランティア幹旋事業」の活用を調査研究します。
					事業評価	○	方向性	継続	

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績				平成 30 年度事業計画
14	通 訳 ク ラ ウ ド サ ー ビ ス 活 用 事 業 (H29-H33)	情 報 企 画 課	ICT を活用した 5 か国語対応の 通訳サービスを 導入し、外国人 市民に対する相 談業務のさらな る充実を図りま す。	【計画】 通訳サービスを利用し、各窓口にお ける外国人市民に対する相談業務 を支援します。また、市民サービス の向上のため、より利用しやすい 運用方法を検討します。 ・ 利用期間：平成 29 年 4 月 1 日 ～平成 30 年 3 月 31 日 ・ 対応言語：英語、中国語、 韓国語、ポルトガル語、スペ イン語 ・ 端末台数：iPad2 台	【実績】 平成 29 年度利用実績：15 件				【計画】 通訳サービスを利用し、各窓口にお ける外国人市民に対する相談業務を 支援します。また、市民サービスの向 上のため、より利用しやすい運用方 法を検討します。 ・ 利用期間：平成 30 年 4 月 1 日 ～平成 31 年 3 月 31 日 ・ 対応言語：英語、中国語、韓国 語、ポルトガル語、スペイン語 ・ 端末台数：iPad2 台
					事業評価	○	方向性	継 続	
15	外 国 人 保 護 者 就 学 相 談 事 業 (H29-H33)	学 校 教 育 課	学 齢 期 を 迎 え た 外 国 人 の 子 ど も の 保 護 者 に 対 し て、就学説明会 等の機会を捉え て日本の学校教 育制度の周知を 図ります。	【計画】 市内各学校で開催する就学説明会 に、各言語の通訳を配置し、外国人 保護者に対して多言語による就学に 関する相談対応及び情報提供を行 います。	【実績】 ・ 就学説明会における通訳配置件 数：0 件（2 月開催） ・ プレスクール「きらきら教室」 への講師派遣：1 人（11 月開催）				【計画】 市内各学校で開催する就学説明会に、 各言語の通訳を配置し、外国人保護 者に対して多言語による就学に関する 相談対応及び情報提供を行います。
					事業評価	○	方向性	継 続	
16	外 国 人 保 護 者 就 学 相 談 事 業 (H29-H33)	学 校 教 育 課	外国人生徒及び 保護者を対象と した進路説明会 を開催するとと もに、随時で進 路相談も行いま す。	【計画】 進路説明会及び進路相談会を開催 します。 ① 進路説明会 第 1 回（7 月）、第 2 回（2 月） ② 進路相談会 7 月～2 月に希望者を対象に 毎月実施	【実績】 進路説明会を開催しました。進路相 談会は希望がありませんでした。 ① 進路説明会：11 月 18 日（土） 参加数：6 人 ② 進路相談会：希望なし				【計画】 進路説明会及び進路相談会を開催し ます。 ① 進路説明会 第 1 回（7 月）、第 2 回（2 月） ② 進路相談会 7 月～2 月に希望者を対象に 毎月実施
					事業評価	○	方向性	継 続	
17	外 国 人 市 民 相 談 事 業 (H29-H33)	大 垣 国 際 交 流 協 会	大垣国際交流協 会において、ポ ルトガル語・中 国語・英語によ る相談窓口を設 置し、随時、外 国人市民の生活 相談に対応しま す。	【計画】 大垣国際交流協会 で次の時間帯に 外国人市民から の相談を受け付 けます。 ① 英語による相談 開催日／毎日（休 館日を除く） ② 中国語による相談 開催日／毎日（休 館日を除く） ③ ポルトガル語に よる相談 開催日／日曜日	【実績】 相談窓口実績 ・ 相談件数 251 件 （月平均 20.9 件）				【計画】 大垣国際交流協会 で、次の時間帯 に外国人市民か らの相談を受け 付けます。 ① 英語による相談 開催日／毎日（休 館日を除く） ② 中国語による相談 開催日／毎日（休 館日を除く） ③ ポルトガル語に よる相談 開催日／日曜日
					事業評価	○	方向性	継 続	

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度実績				平成 30 年度事業計画
18	行政書士による外国人市民行政相談会開催事業 (H29-H33)	大垣国際交流協会	外国人市民を対象とした行政書士による行政相談会（ビザの更新や国際結婚・離婚の手続き等）を開催します。	【計画】 外国人市民を対象とした行政書士による行政相談会を次のとおり開催します。 - 日時：毎月第 1 日曜日 13 時～15 時 - 場所：大垣国際交流協会 - 相談時間：30 分/人	【実績】 行政手続相談会 - 実施回数 2 回 - 相談件数 3 件 (うち通訳対応：ポルトガル語 1 件、中国語 1 件)				【計画】 外国人市民を対象とした行政書士による行政相談会を次のとおり開催します。 - 日時：毎月第 1 日曜日 13 時～15 時 - 場所：大垣国際交流協会 - 相談時間：30 分/人
					事業評価	○	方向性	継続	
19	ポルトガル語によるこころの相談会開催事業 (H29-H33)	大垣国際交流協会	外国人人口の中で最も多い南米系外国人を対象としたポルトガル語の心のケア専門カウンセラーによる相談会を開催します。	【計画】 南米系外国人を対象とした「ポルトガル語によるこころの相談会」を開催します。 - 日時：毎月第 2 日曜日 10 時～16 時（1 人 50 分・予約制） - 場所：スイトピアセンター学習室ほか	【実績】 - 実施回数：12 回 - 相談件数：58 件 (月平均 5 件)				【計画】 南米系外国人を対象とした「ポルトガル語によるこころの相談会」を開催します。 - 日時：毎月第 2 日曜日 10 時～16 時（1 人 50 分・予約制） - 場所：スイトピアセンター学習室ほか
					事業評価	○	方向性	継続	

施策名		②多様な方法による生活情報等の多言語提供							
施策内容		外国人市民に必要な生活情報や行政情報を多言語または「やさしい日本語」を用いて、多様な方法で提供します。							
No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績				平成 30 年度事業計画
20	「外国人市民のための暮らしのガイドブック」配布事業 (H29-H33)	まちづくり推進課	外国人市民が本市で暮らすうえでの生活ルールやマナー、生活習慣等を知ることができるガイドブックを多言語で提供します。	【計画】 「外国人市民のための暮らしのガイドブック」について、掲載内容を見直すとともに、多言語で作成し、外国人市民に配布します。 また、e－BOOK形式での情報提供により、外国人市民の利便を図ります。	【実績】 財源として見込んだ助成金が獲得できなかったため、当初計画の一部（英語版 400 部）のみ作成・配布しました。				【計画】 平成 29 年度に作成できなかったガイドブックのポルトガル語版及び中国語版を作成・配布します。（ポルトガル語版 1,000 部、中国語版 600 部） また、e－BOOK形式での情報提供により、外国人市民の利便を図ります。
					事業評価	△	方向性	継続	

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績				平成 30 年度事業計画
21	ポルトガル語情報誌「アミーゴ」発行业 (H29-H33)	まちづくり推進課	広報「おおがき」から外国人市民にとって有用な情報を抜粋・ポルトガル語翻訳し、毎月定期発行します。	【計画】 ポルトガル語情報誌「アミーゴ」を発行し、関係機関に配布します。 また、これまでの広報抜粋記事以外にも、編集者のコラムや外国人市民インタビューを盛り込み内容の充実を図ります。 ・ 配布数：毎月 1 回計 12 回 ・ 配布先：保育園、小中学校、H I R O 学園、派遣会社、大垣国際交流協会、自治会、ハローワーク等 ・ 発行部数：700 部/回	【実績】 ・ 配布回数：毎月 1 回計 12 回 ・ 発行部数：700 部/回				【計画】 ポルトガル語情報誌「アミーゴ」を発行し、関係機関に配布します。 また、これまでの広報抜粋記事 以外にも、編集者のコラムや外国人市民インタビューを盛り込み内容の充実を図ります。 ・ 配布数：毎月 1 回計 12 回 ・ 配布先：保育園、小中学校、H I R O 学園、派遣会社、大垣国際交流協会、自治会、ハローワーク等 ・ 発行部数：700 部/回
					事業評価	○	方向性	継 続	
22	外国語メール配信事業 (H29-H33)	まちづくり推進課	市政情報等、外国人市民にとって有用な情報を母国語によりメール配信します。	【計画】 ポルトガル語によるメールを次のとおり提供します。 また、フィリピン出身市民等の増加により、英語によるメール配信を検討します。 ・ 配信数：月 5～7 本 ・ 内 容：健康診断・ゴミ出し変更日・各種納税日、イベント情報等	【実績】 ポルトガル語のメール配信に加え、平成 29 年 9 月 29 日から英語のメール配信を開始しました。 ・ 登録者数：ポ語 315 人 英語 48 人 (前年比+107 人) ・ 配信数：ポ語 64 本 英語 36 本				【計画】 日本語が不十分な外国人市民のため、外国人市民の役に立つ情報を、ポルトガル語及び英語でメール配信します。 (拡充) ベトナム人・ネパール人等の増加に対応し、「やさしい日本語」によるメール配信を検討します。 ・ 配信数：月 5～7 本 ・ 内 容：健康診断・ゴミ出し変更日・各種納税日、イベント情報等
					事業評価	◎	方向性	拡 充	
23	フェイスブック情報提供事業 (H29-H33)	まちづくり推進課	S N S 「フェイスブック」を活用し、外国人市民に、行政情報を多言語で提供します。	【計画】 S N S 「フェイスブック」を活用し、行政情報を多言語（ポルトガル語・英語）に翻訳し、外国人市民に提供します。	【実績】 平成 30 年 1 月 4 日からフェイスブックを開設し、ポルトガル語・英語・やさしい日本語で記事を配信しました。 ・ フォロー数：45 人 ・ 配信数：ポ語 15 本 英語 15 本 日語 15 本				【計画】 S N S 「フェイスブック」を活用し、行政情報を多言語（ポルトガル語・英語）及び「やさしい日本語」で、外国人市民に提供します。
					事業評価	○	方向性	継 続	

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績				平成 30 年度事業計画
24	行政情報等多言語提供事業 (H29-H33)	まちづくり推進課	庁内各課からの要請に応じ行政文書を翻訳し、外国人市民に情報提供します。	【計画】 行政情報を多言語（ポルトガル語・英語・中国語）に翻訳し、外国人市民に提供します。 ・ポルトガル語：2人 ・英語：1人 ・中国語1人(大垣国際交流協会) (福祉に関する相談) 社会福祉課、高齢介護課、窓口サービス課、障がい福祉課関連 (子育てに関する相談) 子育て支援課、子育て総合支援センター関連 (公営住宅に関する相談) 住宅課関連 (自治会活動等に関する相談) まちづくり推進課関連	【実績】 (福祉に関する翻訳) 5件 窓口サービス課 4件 障がい福祉課関連 1件 (子育てに関する翻訳) 子育て支援課 201件 (自治会活動等に関する翻訳) まちづくり推進課 101件 (その他) 社会教育スポーツ課等 94件				【計画】 行政情報を多言語（ポルトガル語・英語・中国語）に翻訳し、外国人市民に提供します。 ・ポルトガル語：2人 ・英語：1人 ・中国語1人(大垣国際交流協会) (福祉に関する翻訳) 社会福祉課、高齢介護課、窓口サービス課、障がい福祉課関連 (子育てに関する翻訳) 子育て支援課、子育て総合支援センター関連 (住宅に関する翻訳) 住宅課関連 (自治会活動等に関する翻訳) まちづくり推進課関連
					事業評価	○	方向性	継続	
25	外国人市民就業・起業情報提供事業 (H29-H33)	商工観光課	厚生労働省等からの外国人の就業・起業に関する情報を関係諸団体に提供します	【計画】 外国人の求職活動に向けた技能習得を目的とする「日系人就労準備研修」等、厚生労働省等から提供を受けるチラシやポスター等の有用な情報を次の箇所に設置・掲示します。 ・商工観光課窓口 ・市役所1階 ・雇用・就労支援センター ・勤労者総合福祉センター ・職業訓練センター	【実績】 雇用就労センターにおいて、外国人の就労を希望される方に対応するため、ハローワークより通訳を1名配置しました。また、厚生労働省等から提供を受けるチラシやポスター等の有用な情報を次の場所に掲示しました。 ・商工観光課 ・市役所本庁舎1階 ・雇用・就労支援センター ・勤労者総合福祉センター ・職業訓練センター ・大垣商工会議所 ・市内商工会				【計画】 雇用就労センターにおいて、外国人の就労を希望される方に対応するため、ハローワークより通訳を1名配置します。また、厚生労働省等から提供を受けるチラシやポスター等の有用な情報を次の場所に掲示します。 ・商工観光課 ・市役所本庁舎1階 ・雇用・就労支援センター ・勤労者総合福祉センター ・職業訓練センター ・大垣商工会議所 ・市内商工会
					事業評価	○	方向性	継続	
26	外国人市民就業環境改善情報提供事業 (H29-H33)	商工観光課	厚生労働省等からの外国人就業環境改善に関する情報を関係諸団体に提供します。	【計画】 厚生労働省等からの各種制度改正等の情報を商工会議所等に提供します。	【実績】 厚生労働省からの各種制度改正等の情報を、商工会議所や商工会に提供しました。				【計画】 厚生労働省からの各種制度改正等の情報を、商工会議所や商工会に提供します。
					事業評価	○	方向性	継続	

◎基本目標 3：外国人市民と日本人市民の相互理解の向上（8 事業）

○3-(1) 国際理解教育の推進と交流機会の提供

施策名		①多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進					
施策内容		多文化共生への理解を醸成するため、小中学校で国際理解教育を進めるとともに、フレンドリーシティ交流などで子どもの国際意識向上を推進します。					
No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績		平成 30 年度事業計画
27	国際理解教育推進事業 (H29-H33)	学校教育課	国際理解教育推進校において、国際理解につながる教育を推進します。	【計画】 中川小学校において、次の活動を行います。 ① ファンタイム (Fun Time) 毎日、ALT と児童、教諭による全校テレビ放送を行います。クイズ形式による英単語の紹介など楽しく英語に親しむものとします。 ② フレンドリータイム 総合的な学習の時間に、国際交流活動に取り組みます。そのまとめとして外国のお客様を招待して、学んだことを英語で伝える時間を設けます。	【実績】 中川小学校において、次の活動を行いました。 ① ファンタイム (Fun Time) 毎日、ALT と児童、教諭による全校テレビ放送を行いました。クイズ形式による英単語紹介などで英語に親しみました。 ② フレンドリータイム 外国からお客様を招待して、生徒と英語で交流しました。 6 月 9 日：アメリカ 2 人 9 月 29 日：ベトナム 5 人、インドネシア 1 人 11 月 9 日：ドイツ 1 人、中国 2 人、アメリカ 1 人 11 月 28 日：ドイツ 1 人、中国 2 人、インドネシア 1 人 ③ その他の国際交流 - コーフィールド小学校交流 10 月 17 日：オーストラリア 11 人 - 中川フェスティバル 1 月 28 日：アメリカ 1 人、フィリピン 1 人、ペルー 2 人、ブラジル 3 人、インドネシア 5 人		【計画】 中川小学校において、次の活動を行います。 ① ファンタイム (Fun Time) 毎日、ALT と児童、教諭による全校テレビ放送を行います。クイズ形式による英単語の紹介など楽しく英語に親しむものとします。 ② フレンドリータイム 総合的な学習の時間に、国際交流活動に取り組みます。そのまとめとして外国のお客様を招待して、学んだことを英語で伝える時間を設けます。
				事業評価	○	方向性	継続

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績				平成 30 年度事業計画
28	子ども向け国際理解講座開催事業 (H29-H33)	大垣国際交流協会	本市の未来を担う子どもの多文化共生意識を醸成するため、国際理解・国際交流に資する講座を開催します。	【計画】 子ども食文化体験教室等を行います。 ① 子ども食文化体験教室(3回) ② 国際交流フェスティバル(1回)	【実績】 ① 子ども食文化体験教室 ・ ブラジル文化を知ろう！ 平成 29 年 6 月 17 日(土)開催 参加者数 28 人 ・ えいごでクッキング！ 平成 29 年 9 月 18 日(祝)開催 参加者数 13 人 ・ 本場のカレーの作り方 平成 30 年 1 月 15 日(金)開催 参加者数 30 人 ② 国際交流フェスティバル 平成 29 年 11 月 5 日(日)開催 ・ ステージ発表 ペルー文化の紹介 ・ 協会 P R ブース開設 ブース訪問者数 622 人				【計画】 子どもを含む地域住民を対象に、次の事業を開催します。 ① フレンドリーシティ交流と多文化共生の集い＜大垣国際交流協会 30 周年記念事業＞ ・ 時期：2 月 ・ 場所：スイトピアセンター 定員：100 人
					事業評価	○	方向性	継続	
29	フレンドリーシティ交流事業 (H29-H33)	大垣国際交流協会	本市の未来を担う子どもたちの国際意識を高め、国際感覚に優れた人材を育成するため、フレンドリーシティ派遣・受入事業を行います。	【計画】 フレンドリーシティ 3 都市への派遣及び 2 都市からの受け入れを行います。 ① フレンドリーシティ派遣事業 ・ 中学生ベルギー・ナミュール市派遣 ・ 小・中学生中国邯鄲市派遣 ・ 高校生米国ビーバートン市・ユージーン市派遣 ② フレンドリーシティ受入事業 ・ ドイツ・シュツットガルト市学生訪問団受入 ・ 中国・邯鄲市学生訪問団受入	【実績】 ① フレンドリーシティ派遣事業 ・ ベルギー・ナミュール市派遣 平成 29 年 9 月 16 日～23 日 中学生 8 人、引率者 3 人派遣 ・ 小・中学生中国・邯鄲市派遣 平成 29 年 8 月 17 日～23 日 小学生 9 人、引率者 3 人派遣 ・ 高校生米国・ビーバートン市、ユージーン市派遣 平成 29 年 10 月 13 日～21 日 高校生 10 人、引率者 3 人派遣 ② フレンドリーシティ受入事業 ・ ドイツ・シュツットガルト市学生訪問団受入 平成 29 年 9 月 27 日～10 月 4 日 学生 13 人、引率者 2 人受入 ・ 中国・邯鄲市訪問団受入は中止				【計画】 フレンドリーシティ 3 都市への派遣及び 2 都市からの受け入れを行います。 ① フレンドリーシティ派遣事業 ・ 中学生ドイツ・シュツットガルト市派遣 ・ 小・中学生オーストラリア・グレンアイラ市派遣 ・ 高校生米国・ビーバートン市、ユージーン市派遣 ② フレンドリーシティ受入事業 ・ ベルギー・ナミュール市学生訪問団受入 ・ 中国・邯鄲市学生訪問団受入
					事業評価	○	方向性	継続	

施策名		②外国人市民と日本人市民の交流機会の提供						
施策内容		日本人市民に外国文化や習慣などを紹介することで多文化理解を促進するとともに、外国人市民には日本の習慣、地域社会での日常ルールなどを学ぶ機会や日本文化を体験する交流機会を提供します。						
No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績			平成 30 年度事業計画
30	地域国際交流事業 (H29-H33)	大垣国際交流協会	日本人市民と外国人市民が交流し、互いの文化の理解につながる行事を開催します。	【計画】 日本人市民と外国人市民が交流し、互いの文化の理解につながる講座等を次のとおり開催します。 ① 外国人市民のための日本文化講座（和服・浴衣・茶道／年 14 回） ② 外国人市民のための神輿体験 10 月：十万石まつりへの参加 ③ 納涼盆踊りでの外国人市民の浴衣着付け体験 8 月：納涼盆踊り大会への参加	【実績】 ① 外国人市民のための日本文化講座 ・ 和服体験（年 14 回） 参加者：40 人 ・ 浴衣（平成 29 年 7 月 16 日） 参加者：14 人 ・ 生け花(平成 30 年 3 月 11 日) 参加者：16 人 ② 外国人市民のための神輿体験 平成 29 年 10 月 8 日（日） ※ 十万石祭りへの参加 参加者：19 人 ③ 納涼盆踊りでの外国人市民の浴衣着付け体験 8 月 24 日(木)～25 日(金) ※ 納涼盆踊り大会への参加 参加者：延 55 人			【計画】 日本人市民と外国人市民が交流し、互いの文化の理解につながる講座等を次のとおり開催します。 ① 外国人市民のための日本文化講座（和服体験／年 12 回） ② 外国人市民のための神輿体験 10 月：十万石まつりへの参加 ③ 納涼盆踊りでの外国人市民の浴衣着付け体験 8 月：納涼盆踊り大会への参加
					事業評価	○	方向性	
31	国際交流活動助成事業 (H29-H33)	大垣国際交流協会	民間団体が実施する国際交流活動等の事業を助成し、民間ベースの国際交流活動を支援します。	【計画】 民間団体が実施する国際交流活動に対して、1 事業あたり 8 万円（全 8 事業）助成します。	【実績】 ・ 助成事業数：7 事業 大垣少年少女合唱団 ネオ・ダール会 P T P I 大垣 W I N G A F S 日本協会岐阜支部 岐阜県世界青年友の会 日本国際ポスター美術館			【計画】 民間団体が実施する国際交流活動に対して、1 事業あたり 8 万円(全 8 事業)助成します。
					事業評価	○	方向性	

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績	平成 30 年度事業計画
32	人権講演会開催事業 (H29-H33)	社会教育スポーツ課	多文化共生の考え方を含む人権意識啓発の場として、市民向け講演会を開催します。	【計画】 人権啓発講演会（2月）を開催します。 また、人権学習資料（平成29年度版大垣市人権作文集）を1,000部作成・配布します。	【実績】 ① 心のふれあい講座 参加者：215人（内訳：9/25・71人、9/26・37人、9/27・57人、10/5・50人） 講師：（公社）人権啓発センター 常務理事 吉田 圭三氏 会場：南地区センターほか3会場 ② 人権・同和問題をみんなで考える学習会 参加者：53人 場所：若森会館 開催日：平成29年12月5日 講師：ぎふ人権文化研究所主宰 桑原 律氏 ③ 人権・同和教育講演会 参加者：200人 場所：スイトピアセンター音楽堂 講師：映画監督 瀬瀬 あや氏 ④ 人権啓発講演会 参加者：250人 場所：情報工房5階スィンクホール 開催日：平成30年2月4日 講師：タレント なべおさみ氏 事業評価 ○ 方向性 継続	【計画】 人権講演会を次のとおり開催します。 ① 心のふれあい講座（9月4回開催） ② 人権・同和問題をみんなで考える学習会（12月開催） ③ 人権・同和教育講演会（11月開催） ④ 人権啓発講演会（2月開催） また、人権学習資料（平成30年度版大垣市人権作文集）を1,000部作成し配布します。
33	人権Letter発行事業 (H29-H33)	人権擁護推進室	外国人を含む人権意識の高揚を図るため、人権Letterを年2回発行します。	【計画】 人権Letterを8月と2月の年2回発行します。	【実績】 ・ 年2回発行（8月・2月） 発行部数：56,700部／回 事業評価 ○ 方向性 継続	【計画】 外国人を含む人権意識の高揚を図るため、人権Letterを年2回発行します。
34	多文化共生推進会議開催事業 (H29-H33)	まちづくり推進課	多文化共生社会の推進を図る「大垣市多文化共生推進会議」に外国人市民が参加します。	【計画】 「大垣市多文化共生推進会議」において、外国人市民委員が参加し、その意見を施策や事業等に反映させます。	【実績】 ・ 会議開催：1回（5月30日） ・ 出席委員：11人 （うち外国人委員2人、ブラジル1人・中国1人） 事業評価 ○ 方向性 継続	【計画】 「大垣市多文化共生推進会議」において、外国人市民委員が参加し、その意見を施策や事業等に反映させます。

◎基本目標 4：外国人市民の防災対策の推進（5 事業）

○4-(1) 外国人市民の防災対策の推進

施策名		①外国人市民が災害に備えるための支援				
施策内容		大垣市地域防災計画を踏まえ、外国人市民のための防災訓練などで防災意識の向上を図るとともに、災害時において外国人市民を支援する体制を整備するなど、災害に備えるための支援を実施します。				
No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績	平成 30 年度事業計画
35	外国人市民防災訓練開催事業 (H29-H33)	まちづくり推進課	外国人市民を対象とした防災訓練の際に、地域住民と外国人市民との交流会を開催し、多文化共生への理解を深めます。	【計画】 防災啓発活動を行う N P O 法人に業務委託し、市民と協働しながら外国人市民向け防災訓練を開催します。また、訓練の最後には参加者の国料理による炊き出しを行い、日本人市民と外国人市民の異文化交流を行います。	【実績】 ・ と き：平成 29 年 10 月 14 日（土） ・ ところ：岐阜経済大学 ・ 内 容：防災士による災害に備えるためのアドバイス、消火器使用訓練、担架組立訓練、炊き出し訓練等 ・ 参加者：73 人（外国人 46 人 支援ボランティア 27 人） 事業評価 ○ 方向性 継続	【計画】 防災啓発活動を行う N P O 法人に業務委託し、市民と協働しながら外国人市民向け防災訓練を開催します。また、訓練に際して参加者の国料理による炊き出しを行い、日本人市民と外国人市民の異文化交流を行います。 なお、外国人市民のみでなく日本人市民にも参加を促し、交流を拡大する目的で「多文化防災フェスタ」に名称を改めます。
36	<u>（新）多言語による避難情報等の提供</u>	<u>まちづくり推進課生活安全課</u>	<u>災害時における避難情報等を多言語で提供します。</u>			<u>【計画】 災害時における避難情報等を、ポルトガル語、英語、やさしい日本語に翻訳し、メール配信システム及びフェイスブックにより外国人市民に情報提供します。</u>
37	多言語による指定避難所等の案内 (H29-H33)	まちづくり推進課生活安全課	災害時における指定避難所等の案内について、多言語による提供を進めます。	【計画】 指定避難所内に設置される、指定避難所看板の多言語表記を推進するとともに、防災アプリを活用して、指定避難所等への地図案内を行うなど、外国人市民が災害に備えるための支援を実施します。 また、外国人市民に対し、防災アプリの機能などを紹介した多言語パンフレットを配布して周知します。	【実績】 外国人市民の防災訓練及び外国人市民のための日本語教室（生活情報習得クラス）において防災アプリを説明し、活用を促すとともに、多言語（ポルトガル語、中国語、英語）のパンフレットを作成し、市役所カウンターで配布するなど周知に努めました。 事業評価 ○ 方向性 継続	【計画】 指定避難所内に設置される、指定避難所看板の多言語表記を推進するとともに、防災アプリを活用して、指定避難所等への地図案内を行うなど、外国人市民が災害に備えるための支援を実施します。 また、外国人市民に対し、防災アプリの機能などを紹介した多言語パンフレットを配布して周知します。
38	<u>（新）避難所運営の多言語対応の推進</u>	<u>まちづくり推進課生活安全課</u>	<u>外国人避難者を想定し、避難所運営の多言語対応を推進します。</u>			<u>【計画】 避難所で使用する用語を多言語に翻訳した「多言語表示シート」の各避難所への配備を進めます。</u>

No.	事業名	事業主体	事業概要	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業実績	平成 30 年度事業計画
39	<u>(新)災害 時におけ るボラン ティア人 材の育成</u>	<u>まちづ くり推 進課 生活安 全課 大垣国 際交流 協会</u>	<u>災害時通訳ボ ランティアを はじめとする 支援人材の確 保・育成を進 めます。</u>			<u>【計画】 「多文化防災フェスタ」などの機会 を通じて、災害時通訳ボランティアな ど支援人材の登録を進めるとともに、 ボランティア登録後の育成方法を検討 します。</u>